

新型コロナウイルス感染症への対応

キヤノンは、従業員とその家族、近隣の皆さま、お客さま、お取引先さまなどの健康と安全を最優先に考え、政府方針に基づいた感染症対応を進めると同時に、自社技術を活用し、新型コロナウイルス感染症の早期終結に向けた支援や、新しい働き方・生活様式を支える製品とサービスの提供に努めています。これからも、人や社会に配慮することは企業市民としての責務と捉え、持続可能でレジリエントな社会の実現に貢献していきます。

2021年 キヤノンの主な取り組み

新型コロナウイルスの出現により、社会や経済システムが大きく変わりつつある状況を踏まえ、キヤノンは技術で人々の安心・安全な新しい生活(ニューノーマル)を支えています。



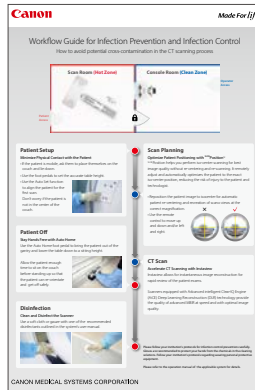
日本初、どこにでも移動可能な感染症対策医療コンテナCTを製品化しました。CT室、操作室、発電機室を備えたオールインワンパッケージです。感染症対策はもちろん、安全かつ簡単にCT検査室を移送・輸送することが可能です。CTコンテナを院外に設置することで、感染リスクの高い受診者と一般外来受診者を分けることができます。



医療コンテナを活用したドライブスルー検査センターに新型コロナウイルスの遺伝子検査システム(RNA検査システム)を提供。地域の感染拡大防止対策に貢献しています。

タイムリーかつグローバルな情報発信により医療現場をサポート

CT、MRI、超音波装置など装置別の清掃・消毒ガイドや感染予防と感染管理のための検査ワークフローガイドを作成し、グローバルに提供しています。



関連情報

新型コロナウイルス感染症による経営や業績への影響についてはP118、従業員への対応についてはP90をご覧ください。

このほかの活動の紹介はこちらをご覧ください。



キヤノンは世界各地でその地域のニーズに耳を傾け、さまざまな支援を行っています

タイでは、新型コロナウイルスワクチン接種支援の一環として、レーザープリンターを寄贈しました。病院やワクチン接種会場において、問診票や予約票、指示書などの印刷に利用されています。



カナダでは、近隣の医療機関の新型コロナウイルス感染症対応を支援するキャンペーンに協力しています。支援は医療行為に必要な各種機器や逼迫する物資の調達に役立てられています。



シンガポールでは新型コロナウイルス感染防止策として、シンガポール政府のSafeEntryポータルと統合した体温検知システムを導入。システム開発担当者が現場で使い方のガイド支援を行うなど、地域とともに、感染症対策を進めています。

